

授 業 科 目	解剖学		
教 育 内 容	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	
担 当 教 員	江戸 優裕		
学 年	1	単 位 数	4
開 講 時 期	前期	時 間 数	講義 60 時間

<b>■ 授 業 概 要</b>	
<p>個体（ヒト）を階層的に構成する器官系（筋系・消化器系等）、器官（筋・胃等）、組織（筋組織・上皮組織等）、細胞（筋細胞・上皮細胞等）の概要を学ぶ。その上で、身体各所の主に運動器（骨、筋、関節・靭帯、神経等）の形態・構造および位置関係について、人体模型を併用して三次元的に学ぶ。さらに、それらの内部構造を体表から把握することで解剖学的知識を生体において統合する。</p>	
<b>■ 到 達 目 標</b>	
<p>1) 個体を階層的に構成する器官系、器官、組織、細胞の各概要を説明できる。  2) 身体各所の器官（主に運動器）の形態・構造を説明できる。  3) 身体各所の器官（主に運動器）の位置関係を理解し、体表から把握できる。</p>	
<b>■ 授 業 内 容</b>	
第 1-2 回	総論、骨格、関節・靭帯、筋系、神経系、感覚器系
第 3-4 回	循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器・生殖器系
第 5-6 回	体幹①（主に運動器と体表解剖）
第 7-8 回	体幹②（主に運動器と体表解剖）
第 9-10 回	肩関節①（主に運動器と体表解剖）
第 11-12 回	肩関節②（主に運動器と体表解剖）
第 13-14 回	肘関節（主に運動器と体表解剖）
第 15-16 回	手関節・手（主に運動器と体表解剖）
第 17-18 回	股関節①（主に運動器と体表解剖）
第 19-20 回	股関節②（主に運動器と体表解剖）
第 21-22 回	膝関節①（主に運動器と体表解剖）
第 23-24 回	膝関節②（主に運動器と体表解剖）
第 25-26 回	足関節・足①（主に運動器と体表解剖）
第 27-28 回	足関節・足②（主に運動器と体表解剖）
第 29-30 回	総括
<b>■ 評 価 方 法</b>	
筆記試験（70%）、授業内課題・平常点（30%）	
<b>■ 教 科 書</b>	
「標準 PT・OT 専門基礎分野 解剖学 第 6 版」野村 嶺（編）（医学書院）。加えて、資料を配布する。	
<b>■ 留 意 事 項 ・ そ の 他</b>	
<p>各種人体模型を使用する。また、体表解剖の理解にあたり、動きやすい服装で出席することが望ましい。  &lt;講師の実務経験&gt;  江戸優裕：理学療法士として 7 年間医療機関に勤務。その後、大学理学療法学科の専任教員として教育に従事。</p>	